

学力が上がる 授業改善の 処方箋

令和4年度に活用できる!!
全国学力・学習状況調査
分析活用リーフレット



効能・効果

- ▶ 学力を上げる授業改善のヒントがわかる!
- ▶ 自校の課題を克服する手順がわかる!

用法・用量

- ▶ ちばっ子の学力を向上させたい時に、欠かさず分析結果を共有しましょう。

使用上のご注意

- ▶ 全教職員で一丸となって取り組みましょう。

全国学力・学習状況調査を上手に活用!!

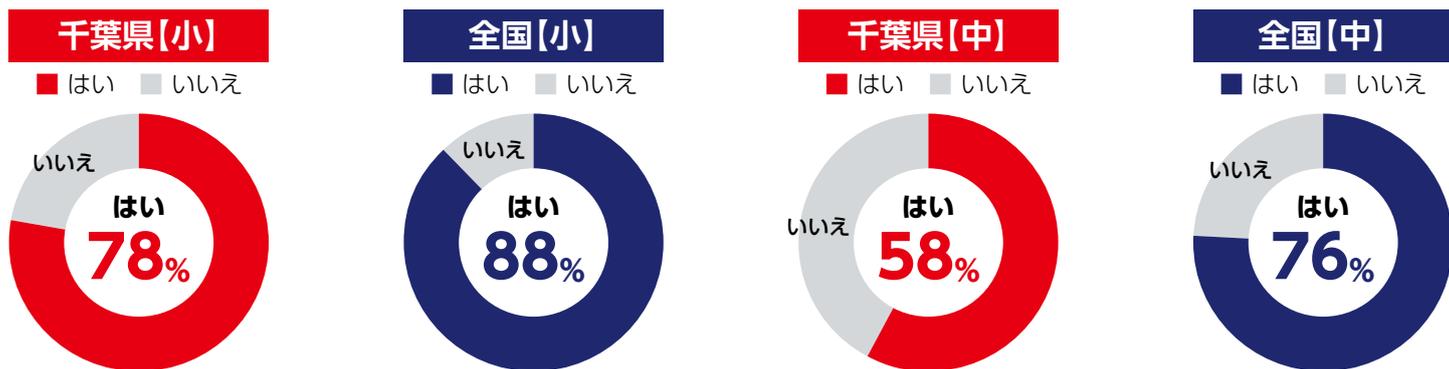
自校の実態に応じた 授業改善をしよう

調査結果を校内研修に活用していますか?

令和3年度 学校質問紙調査 問90

全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか?

⑦課題が見られた点を中心として校内研修を実施し、授業の改善に活用している。



千葉県は全国に比べて校内研修や授業改善に
調査結果を活用している割合が少ない!!

授業改善の**カギ**は、自校の**課題**を**把握**すること



でも、調査を実施した学年や一部の教科のことしかわからないんですよ?

千葉県教育委員会

そんなことはありません。次ページから、効果的な活用方法をお教えいたします。



改善したい症状

調査結果を自分事になっている教員が少ない



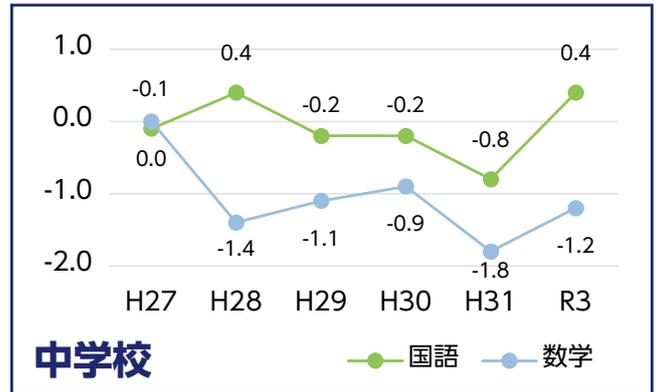
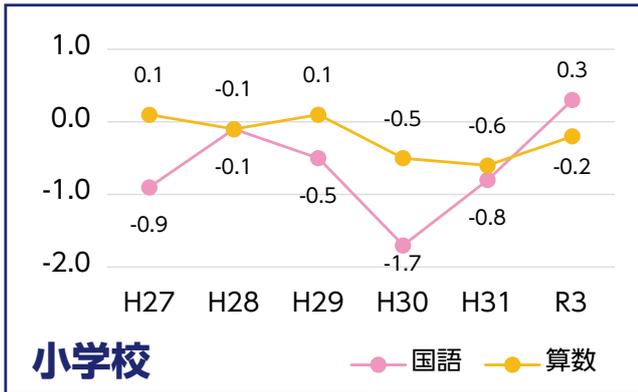
直接授業で教えていない児童生徒の結果は、授業改善の参考にならないのでは？

経年変化で俯瞰すると学校全体の取組の成果が見取れます。全国の平均より上か下かではなくて、**自校の学力が伸びているか**確認しましょう。



【千葉県の平均正答率の推移】

※グラフは全国平均を0としたときの指数で示しています。



H30まではB問題の正答率で換算



全国の平均を基準とした**指数**で見れば、問題の難易度に左右されずに比較できるわ。

上のグラフは、教科別正答率のみですが、各教科の**領域別**や**問題形式別**についても経年変化で比べましょう。



授業改善の処方箋 その1

校内研修に調査結果を取り入れよう

自校の解答状況を**丁寧に分析**して
どの教科・どの学年にも通じる
共通課題を見つけよう

例えば…

- ・基礎基本でつまずいていないか。
- ・あきらめないで問題にチャレンジしているか。
- ・「書くこと」や「読むこと」に苦手意識を持っていないか。など



【校内研修ワンポイント】

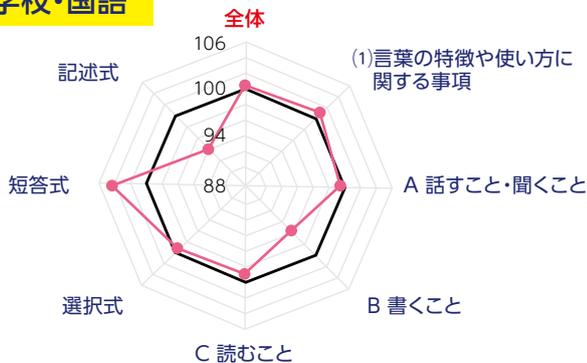
1人1台端末を使って、児童生徒にアンケートを実施すれば、研修の前後や経過の変容を見取るなど、効果検証が簡単にできますね！

授業改善の処方箋 その2

千葉県の分析ツールを上手に活用しよう

【千葉県の領域・問題形式別指数】

小学校・国語



全国を100としたときの指数で千葉県を表しています。

左のチャートは千葉県の小学校国語の領域・問題形式別指数です。チャートで表すことで、どこに課題があるか**視覚的に**確認できますね。千葉県は**例年、記述式問題が課題**です。校内研修のテーマや日頃の授業改善の視点として「記述力向上」を検討しましょう。



自校の課題が明確になれば、**全教科・全学年**を通じて、**授業改善の方向性**が定まるわね。教育効果が高まりそう。



千葉県の分析ツールでは、領域・問題形式別のチャートだけでなく、「誤答分析シート」を活用して、自校の児童生徒がどこでつまづいているのか分析することができます。**分析結果から研究テーマ設定のヒント**を見つけてみましょう。

千葉県総合教育センター 調査・研究



全学年・全教科で

ねらいを絞った授業改善をしましょう!

授業改善の処方箋 その3

校内共通の「改善の視点」を設定しよう

例えば、千葉県は小学校、中学校ともに「**無解答率が全国より高い**」ことも課題です。ぜひ、改善する手立てを考えてみましょう。

校内研修の研究テーマや重点項目に調査結果から得られた課題を設定することで、校内の足並みが揃う!

全国学力・学習状況調査では、**授業で書く活動をよく取り入れている学校ほど、平均正答率が高くなる**というデータも得られています。

まずは…

「自分の言葉で学習のまとめを書く」

を授業に取り入れてみましょう。

次のページからは、実際に出題された問題と授業改善案を紹介します。

「条件に合わせて要約できる力」を育む授業をしよう。

令和3年度の設定問

※左のげんこう用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

- （条件）
- 面ファスナーのよさを取り上げて、国際宇宙ステーションの中の使われ方について書くこと。
 - 「資料」から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 五十文字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。

四 相川さんは、「資料」を読み、面ファスナーが宇宙でも使われていることについてまとめています。面ファスナーは、国際宇宙ステーションの中でどのように使われていますか。次の条件に合わせて書きましょう。

設問データ

	平均正答率	無解答率
千葉県	28.2%	5.9%
全国	29.7%	5.5%

指導のポイント

「段階的に要約の仕方を指導する」

- 1 要約の目的を意識させる。
- 2 繰り返し出てくる言葉から、内容の大体を捉えさせる。
- 3 条件に合わせて、中心となる語や文を整えて要約させる。※読み手の目的に応じて異なる。
- 4 要約の仕方について気付いたことをまとめさせる。



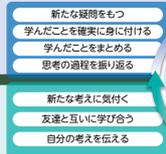
ICTを活用しよう!

文書作成ソフトは、何度も書き直したり、コピーやカット機能で要約練習が効率よくできます。児童のノートを写真に撮り、大型提示装置に映せば、学級全体での意見交換につなげることができます。

【千葉県の実践モデルプログラムを活用した授業改善例】

学習のまとめとふりかえりをしよう。

- ・要約は、中心となる語や文を見つけるといいね。
- ・条件を変えたらどうなるかな。



要約文を書いてみよう。

- ・中心の語や文を使って、短い文にまとめてみよう。
- ・意味が伝わるか友達と読み合いさらに良くしよう。



要約の目的を確認しよう。

- ・クラスで○○事典をつくってみよう。
- ・調べたことを要約して伝えよう。



要約の仕方を知ろう。

- ・中心の語や文はどうやってみつけるのかな。
- ・どうやったら文を短くできるのかな。



関連する教材例

- ・光村図書4年下「世界にほこる和紙」
- ・教育出版4年下「ウミガメの命をつなぐ」

チーテレ
スタディーネット

このテーマに関連した
授業動画をチェック!!



「目的や意図に応じて書き方を工夫できる記述力」を育む授業をしよう。

令和3年度の設定問

設問データ

	平均正答率	無解答率
千葉県	52.4%	10.1%
全国	56.6%	9.6%

指導のポイント

「見通しを持たせてから指導する」

- 教科書や見本文から、どのような意見文が説得力があるか見いださせる。
- 自分と異なる立場の意見の効果的な取り入れ方を学ばせる。
- 目的や意図によって、構成が異なることに気付かせる。



ICTを活用しよう!

クラウド上に下書きデータをアップすれば、友達や先生といつでもコメントを交換できます。
清書を他の学年や保護者・地域に発信できます。

- 「そうじたん当の人などがかたづけられればよい」という考えに反対する意見と、その理由を書くこと。
- 「西田さんの話」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十文字以上、百字以内で書くこと。

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけられています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう、はきそうじやふきそうじまで手が回らなくなることもあります。そんなときは、きれいにそうじができなくて困ります。

【西田さんの話】（遊具置き場のそうじ担当）

二 丸山さんは、——部の「そうじたん当の人などがかたづけられればよい」と考える人を説得するために、「西田さんの話」を用いて「文章の下書き」の……部をくわしく書き直そうとしています。あとの条件に合わせて書きましよう。

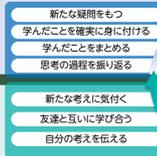


西田さん

【千葉県の実践モデルプログラムを活用した授業改善例】

説得力のある意見文の書き方を自分の言葉でまとめよう。

- 異なる考えに対する意見を入れることは大切だね。



友達と読み合い、説得力のある文の書き方について意見交換しよう。

- この書き方はわかりやすいね。
- この部分をもっと知りたい。



教科書や先生の見本を読んでみよう。

- 説得力がある意見文の特徴をたくさん見つけたよ。



事実に基づいた意見を書こう。

- 事実と意見を色分けしてみよう。
- 詳しく書く部分はどこかな。



関連する教材例

- ・光村図書5年「読み手が納得する意見文を書こう」
- ・教育出版5年下「意見文を書こう」
- 6年下「自分の考えを発信しよう」

チーテレ
スタディーネット

このテーマに関連した
授業動画をチェック!!



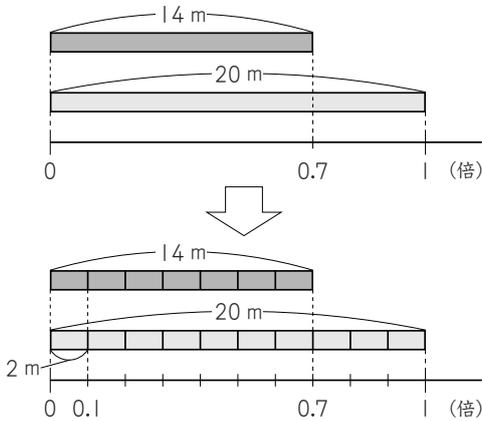
令和3年度の設定問

(3) 14 mのテープと20 mのテープがあります。
こはるさんたちは、14 mは20 mの何倍かについて考えています。

こはる $14 \div 20 = 0.7$ で、0.7倍です。0.7倍というのは、20 mを1としたとき、14 mが0.7にあたることを表していましたね。

れんと 20 mを1としたとき、14 mが本当に0.7にあたるのかな。

れんとさんの話を聞いて、ゆうまさんは、20 mを1としたときに14 mが0.7にあたるわけについて、20 mを10等分した1つ分の長さが0.1にあたることをもとにして考え、下のように図をかいて説明しました。



【ゆうまさんの説明】

ゆうま 20 mを1としたとき、0.1にあたる長さは2 mです。
14 mは、2 mの7つ分になるので、20 mを1としたときの0.7にあたります。

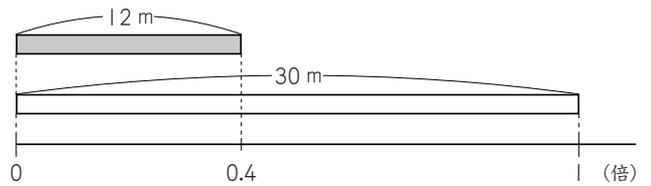
12 mのテープと30 mのテープもあります。
たくみさんたちは、12 mは30 mの何倍かについて考えています。

たくみ $12 \div 30 = 0.4$ で、0.4倍です。

さくら 30 mを1としたとき、12 mが本当に0.4にあたるのかな。

30 mを1としたときに12 mが0.4にあたるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1にあたる長さがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図を使って考えてもかまいません。



設問データ

	平均正答率	無解答率
千葉県	51.7%	11.7%
全国	51.5%	10.3%

指導のポイント

「自分の考えを書き表す時間を十分に取る」

- 日常生活の場面を想定させて判断させる。
- 量感をつかませる活動を取り入れる。
- 立式の際に、式がもつ意味を考えさせる。
- 図・式・言葉で自分の考えをまとめ、伝え合う活動を取り入れる。
- 毎時のまとめを自分の言葉で書かせる。

ICTを活用しよう!

大型提示装置を用いて、グラフを拡大したり動かしたりすることで、要点に着目させることができます。

アンケート機能で小テストを実施することで、学級全体のつまずきや理解度を即座に把握できます。

画面共有することで、自席で自分の考えを説明することができます。

表計算ソフトを使えば、グラフを何度も作り直すことができます。



【千葉県の実践モデルプログラムを活用した授業改善例】

友達の考えを聞くなどして、学んだことを自分の言葉でまとめよう。

- ・1より小さい小数を用いて倍を表すことができる。
- ・図を使うとわかりやすい。



- 新たな疑問をもつ
- 学んだことを確実に身に付ける
- 学んだことをまとめる
- 思考の過程を振り返る

まとめあげる
見いだす
自分で取り組む
広げ深める



もとの数より小さい数を倍数で表せるのかな。

- ・テープ図や線分図で比べてみると、何倍か見当がつけられそうだね。

- 疑問をもつ
- 既習の内容や方法を振り返る
- 課題を明確にする

実際にグラフで表してみよう。

- ・1倍より小さくなりそう。
- ・小数の倍数で表せそう。

自分の考えを図や式を使って、友達に説明しよう。

- ・もとの数を1とすると、0.1は□となるから…



- 新たな考えに気付く
- 友達と互いに学び合う
- 自分の考えを伝える



- 解決の見通しをもつ
- 情報を収集し調べる
- 自分の考えを形成する
- 思いや考えを基に創造する

関連する単元例

- ・啓林館4年「小数のかけ算わり算」
「割合」
- ・東京書籍4年「小数のかけ算とわり算を考えよう」
「倍の見方」

チーてれ
スタディーネット

このテーマに関連した
授業動画をチェック!!



国立教育政策研究所が作成した 「授業アイデア例」の紹介

～国立教育政策研究所HPより～

「授業アイデア例」は、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、授業の改善・充実を図る際の参考となるよう、授業のアイデアの一例を示すものとして、平成21年度より作成し、学校や教育委員会などに配布しているものです。

本調査で見られた課題は、調査の対象学年だけではなく、学校全体で組織的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です。

「授業アイデア例」が、日々の授業や研修会など様々な場面で活用され、児童生徒の学習状況の改善につながることを期待しています。



授業アイデア例



授業改善の処方箋

「文章の表現に基づいて、自分の考えを形成する力」を育む授業をしよう。

令和3年度の設定問

四 「紹介」に〰〰〰線部「様々に評価する」とありますが、「文章の一部」では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「文章の一部」から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書きなさい。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

設問データ

	平均正答率	無解答率
千葉県	21.7%	26.1%
全国	20.5%	24.1%

指導のポイント

「互いに作品を評価し合うことで
自己の考えを広げ深める時間をつくる」

- 1 下書きの段階で読み合いをさせる。
- 2 相手の作品に、様々な視点で色分けした付箋に意見を記入して貼る。
- 3 付箋の意見を参考に清書させる。
- 4 評価し合うことで気付いた視点をまとめる。



ICTを活用しよう!

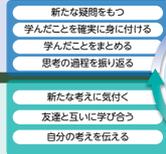
チャット機能を使って、自席から同時に意見交換できます。

ホワイトボード機能を使えば、各色の付箋を貼ったり移動したり繰り返し使用できます。

【千葉県の実践モデルプログラムを活用した授業改善例】

自分の考えを的確に表現できたか振り返り、学んだことをまとめよう。

- ・今まで以上に物語の情景に着目して読むことができたよ。



友達と下書きを読み合い、推敲しよう。

- ・友達の考えと自分の考えを比較することで、考えが固まってきたよ。



物語を支える一文を見つけて、友達に紹介するための見通しを立てよう。

- ・複数の例から、共通している表現や特徴を見つけてみよう。



物語を支える一文を抜き出し、自分の考えを付け足そう。

- ・複数の場面にかかる文を見つけた。
- ・理由を自分の言葉で表現しよう。



関連する教材例

- ・光村図書2年「走れメロス」
- ・教育出版2年「タオル」

チーテレ
スタディーネット

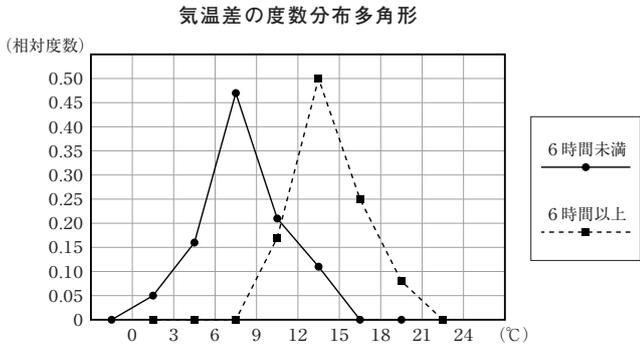
このテーマに関連した
授業動画をチェック!!



「データから判断したことを数学的な表現で説明する力」を育む授業をしよう。

令和3年度の設定問

(3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。



気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

指導のポイント

「判断の理由を数学的に説明する場面を設定する」

- ① 目的に応じてデータを比較する指標を見いださせる。
- ② グラフや表などのデータから数学的な根拠に着目させる。
- ③ 目的に応じてデータから読み取ったことを整理させ、説明させる。



ICTを活用しよう!

グラフのデータを表計算ソフトで配付することで、グラフを加工したり、作り直したりすることが簡単にできます。

プレゼンテーションソフトを用いることで、グラフや表を挿入した説明資料が簡単にできます。

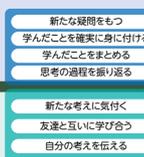
設問データ

	平均正答率	無解答率
千葉県	10.3%	37.5%
全国	11.1%	32.2%

【千葉県の実践モデルプログラムを活用した授業改善例】

他のデータでも比較して、数学的表現の幅を広げよう。

・日常で得られたデータを比較してわかったことを説明してみたよ。



比較してわかったことを、数学的に自分の言葉で説明しよう。

・横軸が右に行けば行くほど、数値は大きくなるから…

相対度数を用いる必要性を知ろう。

・度数が異なる二つのデータを比較するにはどうすればよいのかな。

データを多面的に比較して、傾向を見つけよう。

・度数分布多角形の特徴は？
・頂点の位置がずれているね。

関連する単元例

- ・啓林館1年「データの活用」
2年「箱ひげ図とデータの活用」
- ・東京書籍1年「データを活用して判断しよう」
2年「データを比較して判断しよう」

チーてれ
スタディーネット

このテーマに関連した
授業動画をチェック!!



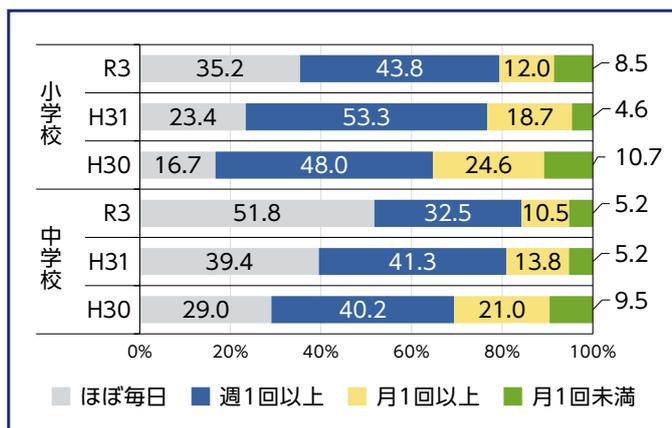
令和3年度 全国学力・学習状況調査からわかった

千葉県ICTを活用した学習に関する取組状況

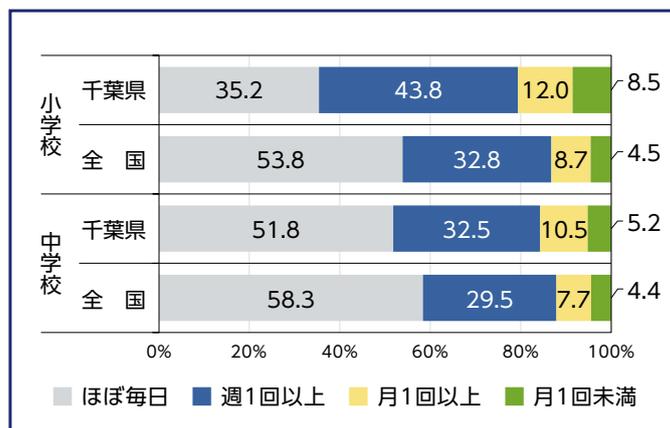
【学校質問紙66】

前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)などのICT機器を活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか

【千葉県の経年変化】



【令和3年度調査結果】



千葉県の状況①

教員のICT活用状況

小、中学校ともに「教員がICT機器を活用した授業」の割合は年々増えていますが、全国と比較するとまだ低い状況です。

【児童生徒質問紙26】

前年度までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか

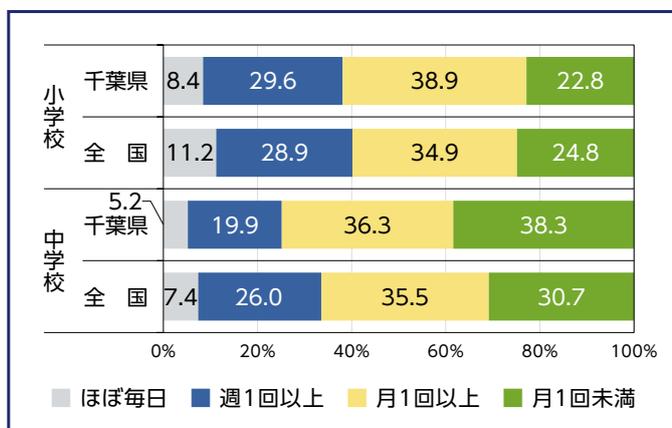


【学校質問紙72】

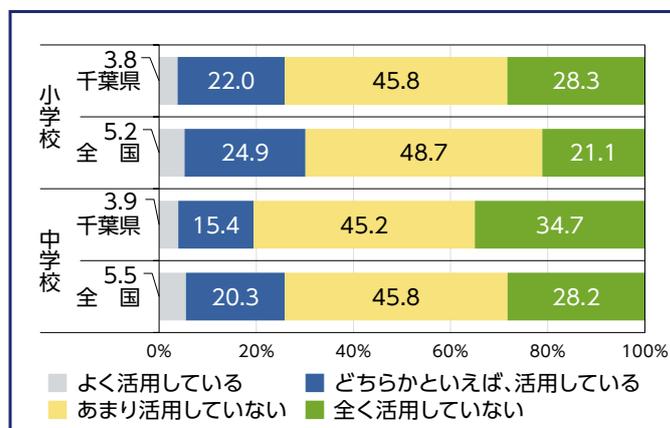
あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか

③児童(生徒)同士がやりとりする場面

【令和3年度調査結果】



【令和3年度調査結果】



千葉県の状況②

児童生徒のICT活用状況

児童生徒が「授業でコンピュータを使用する頻度」についても全国を下回る状況です。

特に、【児童生徒同士がやりとりする場面】でその傾向が顕著に見られます。

ICTを効果的に活用して、学力が向上する授業改善を目指そう!!



全国学力・学習状況調査を活用した 学力向上のための取組についてのチェックシート例

千葉県総合教育センター発行「令和3年度 学力向上の手引き」参照

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上の取組を進めるためのチェックシートを例示します。
各学校の実態に合わせて活用してください。

No.	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>
調査実施前の取組（前年度末～年度初め）		
1	これまでの調査結果について、学校全体で確認し、課題を明確にした。	<input type="checkbox"/>
2	教育課程の編成に当たり、これまでの調査結果を参考にした。	<input type="checkbox"/>
3	教育課程の編成に当たり、これまでの調査内容や質問項目を参考にした。	<input type="checkbox"/>
4	校内研修等で、前年度までの調査結果を、取組の方針や手立ての構築等の参考にした。	<input type="checkbox"/>
5	指導改善サイクルについて、県の施策とともに学校全体で確認した。	<input type="checkbox"/>
調査実施後の取組（結果公表前）		
6	学校全体で教科の調査問題を解き、内容と出題の意図を確認した。	<input type="checkbox"/>
7	学校全体で質問紙調査の質問項目を読み合わせ、各質問紙の内容を確認した。	<input type="checkbox"/>
8	学校全体で児童生徒の解答を確認した。または、採点した。	<input type="checkbox"/>
9	校内研修等で、問題及び解説資料を基に指導改善のための話し合いを行った。	<input type="checkbox"/>
結果公表後の取組（分析について）		
10	文部科学省からの結果データを速やかにダウンロードし、保管している。	<input type="checkbox"/>
11	報告書や授業アイディア例など、文部科学省からの資料を学校全体で共有している。	<input type="checkbox"/>
12	教科に関する調査の結果について全国や県と比較し、分析結果を学校全体に周知している。	<input type="checkbox"/>
13	各質問紙調査の結果について全国や県と比較し、分析結果を学校全体に周知している。	<input type="checkbox"/>
14	県の分析ツールを総セのWebサイトからダウンロードし、分析シートを作成した。	<input type="checkbox"/>
15	印刷した分析シートと文部科学省からの資料は、活用しやすいように保管されている。	<input type="checkbox"/>
16	「教科・質問紙分析シート」を基に分析し、課題を学校全体で共有し、改善方を検討した。	<input type="checkbox"/>
17	「経年分析シート」を基に分析し、課題を学校全体で共有し、改善方を検討した。	<input type="checkbox"/>
18	「誤答分析シート」を基に分析し、課題を学校全体で共有し、改善方を検討した。	<input type="checkbox"/>
19	「クロス集計シート」を基に分析し、課題を学校全体で共有し、改善方を検討した。	<input type="checkbox"/>
20	分析シートの活用の仕方について、「学力向上の手引き」を参考にした。	<input type="checkbox"/>
指導改善についての取組		
21	「思考し、表現する力」を高める「実践モデルプログラム」を基に指導改善を行った。	<input type="checkbox"/>
22	県教育委員会が作成した「授業改善のリーフレット」を指導改善の参考にした。	<input type="checkbox"/>
23	「学力向上の手引き」の「課題別実践アイディア例」を指導改善の参考にした。	<input type="checkbox"/>
24	教科指導について関係する学年間で課題を共有し、学年に応じた手立てを講じた。	<input type="checkbox"/>
25	教科指導について検討した改善方を基に授業を実践した。	<input type="checkbox"/>
26	各質問紙の結果を基に課題を学校全体で検討し、授業改善を行った。	<input type="checkbox"/>
27	検討した改善方を基にした授業実践を評価し、改善点を話し合った。	<input type="checkbox"/>
28	過去の調査問題を活用し、児童生徒の実態把握を行った。	<input type="checkbox"/>
29	S－P表を活用し、実態に即した指導の充実を図った。	<input type="checkbox"/>
30	各質問紙の結果を基に課題を学校全体で検討し、学校経営に生かした。	<input type="checkbox"/>
31	保護者や地域の人の学校教育活動への協力・連携を進めるため、調査結果の提供を行った。	<input type="checkbox"/>
32	保護者や地域の人と協力・連携して、検討した改善方を活用した取組を行った。	<input type="checkbox"/>
調査に関連する資料について		
33	調査問題を、校内研修や授業づくり、または授業を行う中で活用している。	<input type="checkbox"/>
34	調査問題を、教材やテスト、児童生徒への課題作成の参考にしている。	<input type="checkbox"/>
35	調査に関連する資料をファイルし、全職員が積極的に活用している。	<input type="checkbox"/>

学力が向上した取組! 4つの共通点

学力向上推進体制

ポイント ▶ 学力向上部会を組織として位置付ける

- ▶ 全国学力・学習状況調査の問題や自校の解答状況をチームで分析
- ▶ 全教員が一斉に全国学力・学習状況調査を実際に解いてみる時間を確保
- ▶ ミドルリーダーや管理職による教科部会の参観及び指導・助言
- ▶ 中学校区間で、意見交換会(オンライン会議を有効活用)
- ▶ 少人数指導や教科担任の適正配置



授業改善の手立て

ポイント ▶ 全学年・全教科同一歩調の共通理解

- ▶ 視覚的に意識できる「授業改善チェックシート」作成
- ▶ ベテラン・中堅の技術を若手に継承するメンター制の教材研究・授業研究
- ▶ PDCAサイクルをまわしやすい「具体的な研究主題」の設定
- ▶ ICTの効果的な活用方法を検討する校内研修
- ▶ 若手からベテランまで徹底すべき「学校の実態に応じた学習スタンダード(規律)」の確立

学力が伸びる教育課程の工夫

ポイント ▶ 子供が学びやすい環境を整える

- ▶ 全国学力・学習状況調査や学校評価アンケートの結果を反映した教育課程編成
- ▶ 各学年(縦)と各教科(横)の単元計画のすり合わせと重点指導項目の共通確認
- ▶ 朝ドリルや朝読書などのモジュールを活用した学習習慣の確立
- ▶ 年間行事計画の中に「学力向上週間(月間)」を位置付ける
- ▶ 教材研究確保のための行事数及び内容の精選



家庭・地域との連携

ポイント ▶ 学校外の人的資源・物的資源を有効活用

- ▶ 家庭学習だよりの発行(目標時間や家庭学習の方法を周知)
- ▶ 自主学習ノートの活用と優良ノートの表彰
- ▶ 全国学力・学習状況調査から得られた課題やその改善策を保護者会、学校だよりで情報共有
- ▶ 生活習慣チェックシートによる自己評価の促進
- ▶ 地域から「読み聞かせ」「学習支援員」「ICT補助員」等のボランティアを募集

上記は、千葉県内で実際に学力向上の成果をあげている小、中学校の実践例です。「チーム学校」として学力向上に取り組むことで、大きな効果が見込めます。

大切なことは、効果の検証方法を数値化するなどして、事前に決めておくことです。実践しただけで満足せず、ねらいを達成できたか必ず検証しましょう。